

AMAKURU RWANDA

Gicurasi #12



青年海外協力隊 2017 年度 4 次隊
ルワンダ派遣 (2018/3~)
コミュニティ開発 (水の防衛隊)
野田 恵莉



Mwiriwe! (こんにちは!) 2018 年 3 月末より東アフリカの赤道直下に位置するルワンダ共和国に派遣されている野田恵莉(のだえり)です。

今月で任地のムラマに赴任して 1 年と 1 か月が経ちました。最近、雨のおかげで草木が生い茂っており、緑いっぱいの大地を眺めながら気持ちよく活動しています。さて今月は、私の活動と暮らしについて紹介します。



📷：庭の小さな畑に蒔いた豆。かわいらしい花が顔を出しました。

----- 赴任 1 年、中間報告会を行いました -----

いよいよ、2 年間のボランティア活動も折り返し地点となりました。4 月 26 日に 2017 年度 4 次隊の「中間報告会」が行われ、1 年間の活動と今後の計画を報告しました。

今回私は、①水供給の改善を目的とした井戸の維持管理について②水因性疾患を未然に防ぐことを目的とし、水衛生教育の一環として実施した「ジェリカン (水の保管容器) 洗浄ワークショップ」について発表をしました。



📷：報告会の様子。

私の活動は、ちょうど 1 年前、未知の土地に住み、言葉を覚え、人間関係を築くという手探りの状態から始まりました。生活といえば、水道が通っていないため、ジェリカンに水を保管し、それを使うことに慣れるのが精一杯。活動も、正直うまくいかないことの方が多かったです。

しかし、今ではジェリカン生活は慣れっこです。活動は、村に足を運べば、思いがけない出会いや何かしらの発見があり、「とりあえずやってみよう」と始めたことが、少しずつ活動につながってきたように感じています。

そして、そのような活動を通じて、自分自身はもちろん、住民にも変化が見られるようになりました。1 年前は時間どおりに来てくれなかった井戸修理工が、しっかりと時間を守るようになったり、衛生教育のワークショップで毎週通い詰めた母親グループの女性が、「えりが来てくれて、たくさんのことを教えてくれて本当に感謝している」と伝えてくれたのです。

このような小さな変化が私の活動のモチベーション。残りの 1 年も、住民の暮らしが少しでもよくなるように、住民とともに活動していきます。今後の活動目標は、①井戸の維持管理体制を整え実践すること、②「ジェリカン洗浄」が習慣化することです。そして、住民とふれあいながら、任地でのルワンダライフを楽しみたいと思います！



📷：2017 年度 4 次隊のメンバー。

-- **雨季、新緑のきれいなアカゲラ国立公園へ** --

ルワンダ東部県の観光スポットといえば、“BIG 5”（ライオン、ゾウ、バッファロー、サイ、ヒョウ）がそろうアカゲラ国立公園。今回、任期1年修了記念にアカゲラ国立公園へ行ってきました！

サファリのベストシーズンは動物が発見しやすい“乾季”と言われますが、“雨季”にしか見ることができないアカゲラの一面も。結論、雨季でも行く価値ありのサファリです。



📷：ようこそ、アカゲラ国立公園へ！

あいにく、2時間ほど土砂降りに遭いましたが、雨が降ったことで際立った新緑の美しい大地とそこに棲む動物たちに出遭うことができました。



📷：雨が降ると、カバは水の中へ。

サファリガイドによれば、ジェノサイド後、他国に逃れていた難民がアカゲラ国立公園保護区に住み、密猟や耕作をはじめたことで当公園の面積は半分ほどに縮小、動物も減少したそうです。そこに棲む“クロサイ”は2007年まで生存していたのですが、住民に殺されてしまったとか。また、私の任地も、昔はア

カゲラ国立公園に位置していたと聞きました。現在は、電子柵で国立公園を囲み、動物たちは保護されています。



📷：アカシアの若葉と巨体のバッファロー。



📷：近くにライオンの気配を感じさせるハイエナ。

お隣のタンザニアと比べれば小さくはありますが、千の丘の国と呼ばれるルワンダにも平原が広がっており、また人家がすぐ見えるところに多様な動物が棲んでいることに驚きました。今回は、ルワンダの歴史に思いをはせながら、たくさんの動物に遭遇し、雨季のサファリを楽しむことができました。

